

# 安政遠足侍マラソンの歴史



写真右：第2回安政遠足  
 写真左上：昭和50～60年代安政遠足  
 写真左中：第8回安政遠足  
 写真左下：第1回安政遠足

今から160年以上前の1855年（安政2年）5月19日、安中藩の藩士が安中城から熊野神社を目指し、走り始めた。

「安中御城内御諸士御遠足着帳」と書かれた古文書が見つかったのは昭和30年5月。

そこには文武奨励策の一環として安中藩主、板倉勝明の命により、1855年5月19日から6月28日まで、50歳以下の安中藩士が1日に6～7人のグループとなり、安中城から碓氷峠の熊野神社まで走ったことやその参着日時、順番、名前が記されていました。

このとき、延べ96人の藩士が碓氷峠まで走り抜きました。

到着した藩士は御初穂を献上し、力餅・みの干し大根などを食べてから帰城しました。

時は流れて昭和50年に安政遠足保存会が遠足を復活させ、第1回「安政遠足（侍マラソン）」を実施し、今では安中市の1大イベントになっています。

2月1日（金）～28日（木）まで、上記の写真を含む「安政遠足パネル展示会」が困・塚で開催されています。みなさんぜひこの機会に昔懐かしい遠足の風景と歴史をご覧ください。

